

CODE

100 & 100H



取扱説明書

Marshall

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、電気音響機器全般の製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守り下さい。

お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。(説明項目の中に該当しない内容が含まれている場合があります)

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。

■記号表示について
この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	警告	間違った取り扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
	注意	間違った取り扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

■「警告」と「注意」について
以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。

警告

電源/電源コード	
	電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。 また、電源コードに重いものをのせない。 電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない、機器にさわらない、感電の原因となることがあります。
	付属の電源コードをほかの製品に使用しない。 故障、発熱、火災などの原因になります。
	電源プラグは、見える位置で、手の届く範囲のコンセントに接続する。 万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。
	電源は必ず交流100Vを使用する。 エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災の恐れがあります。
	電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接続する。 確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。アース接続をはずす場合は、電源プラグをコンセントから取りはずしてから行ってください。
	電源コードは、必ず付属のものを使用する。 故障、発熱、火災などの原因になります。
	手入れするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 感電の恐れがあります。

分解禁止	
	火災や感電を防ぐために製品の内部を開いたり、内部の部品を分解しない。 製品の内部には、お客様が修理や交換できる部品はありません。製品の点検、修理は必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

水に注意	
	本体の上に花瓶や薬品などの液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。 内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いたうえで、お買い上げの販売店または、ヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししない、機器にさわらない、感電の原因となることがあります。

水に注意	
	本体の上でろうそくなど火気のあるものを置かない。 火災の原因になります。

異常に気づいたら	
	電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。 ・電源コードやプラグが破損した場合 ・製品の内部に液体、異物が入った場合 ・落下した場合、外装が損傷した場合 ・使用中に正常に作動しない場合 ・性能が著しく劣化した場合 そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

注意

電源/電源コード	
	電源コードが破損するような事をしない。(感電や火災の原因になります) ・ストーブなどの熱器具に近づけない ・無理に曲げない ・加工したり傷つけたりしない ・電源コードに重いものをのせたり引っ張ったりしない ・電源プラグを抜く時は、電源コードを持たずに、電源プラグを持って引き抜く
	電源コードなどの被覆剥けを放置したり、ビニールテープなどで応急修理したりしない。 製品の点検、修理は必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
	タコ足配線をしない。 コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。
	長期間使用しない時や雷雨のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。 感電、ショート、発火などの原因になります。
	電源プラグは、コンセントに根元まで、確実に差し込む。 電源プラグの差し込みが不十分のまま使用すると感電や、プラグに埃がたまり発熱や発火の原因となります。
	電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに取り除く。 発熱や発火の原因となります。

電池	
	使用後の乾電池は火中に捨てない。 乾電池は一般のゴミとは分けて、定められた場所に捨てましょう。
	使い切った電池は、すぐに電池ケースから取り外し、自治体の条例または取り決めに従って破棄する。 電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。

設置	
	不安定な場所に置かない。 本体が転倒して故障したり、お客様やほかの方々へのけがを及ぼす原因になります。
	スピーカーキャビネットの接続には専用のケーブルを使用する。 市販のスピーカー接続専用ケーブルをお買い求めください。 ギターシールドなどで接続した場合、故障や損傷の原因となるだけでなく、火災の原因になることがあります。
	スピーカーキャビネットの許容入力以上の最大出力を持つアンプには接続しない。 また、スピーカーキャビネットのインピーダンスに合ったアンプに接続する。 故障や火災のおそれがあります。
	1台のスピーカーキャビネットに複数のアンプヘッドを接続しない。 機器の故障や損傷の原因となります。

電源アダプター	
	衣類や布団、テーブルクロスなどでおおった状態で使わない。 熱がこもり本体ケース部の変形や、火災の原因となることがあります。
	ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させるなど、強い衝撃を与えない。 破裂したり、火災の原因となることがあります。

取り扱い	
	移動/運搬は他機器やスピーカーキャビネットを重ねた状態で行わない。すべての機器の電源を切った上で、ほかの機器と接続する。 また、電源を入れたり切ったりする前に、機器のボリュームを最小にする。演奏しながら徐々にボリュームを上げて、適切な音量にする。聴覚障害または機器の損傷の原因になります。
	大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。 聴覚障害の原因となります。

電池	
	指定以外の電池は使用しない。 また、種類の異なる電池や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。 電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。
	電池と金属片をいっしょにポケットやバックなどに入れて、携帯、保管しない。 電池がショートし、破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。
	電池は極性表示(プラス+とマイナス-)に従って、正しく入れる。 極性表示を間違えて入れると破裂や液漏れにより、火災やけがの原因になります。
	製品を長時間使用しない場合は、電池を電池ケースから抜いておく。 電池が消耗し、電池から液漏れが発生し、本機を損傷するおそれがあります。
	電池は幼児の手の届かないところに保管する。 お子様が誤って電池を飲み込んだ場合、窒息や体内の損傷を起こすおそれがあります。 誤って電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。

無線機能を有する製品に関する注意	
	製品の使用周波数帯で、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線(免許を要する無線局)が運用されています。 ・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。 ・万一、この機器からの移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

CODE

はじめに

プログラム可能な新世代のMarshallアンプ「CODE」は、歴代Marshallの忠実なモデリングに加え、プロ品質のエフェクト類を搭載しています。CODEのプリアンプ、パワーアンプおよびスピーカーキャビネットのモデリングには、オーディオソフトウェアのパイオニアSoftube社とのコラボレーションによって開発された「Marshall-Softube-Technology (MST)」モデリング技術が採用されています。Bluetooth®やUSB接続も可能で、専用アプリ「Marshall Gateway™」での拡張性など多彩な機能を備えたCODEは、音楽的インスピレーションを刺激する強力なツールです。

概要

14種のMSTプリアンプ/4種のMSTパワーアンプ/8種のMSTスピーカーキャビネットのモデリングを搭載したCODEは無限の可能性を秘めています。コンプレッサー/ディストーション/オートワウ/ピッチシフター/コーラス&ヴィブラート/フェイザー&ヴァイブ/フランジャー/トレモロなどの定番エフェクトに加え、スタジオ/ヴィンテージ/マルチ/リバーブ/タップテンポといった多彩なディレイやスタジオ品質のリバーブ、プリアンプセクションのノイズゲートを含め全24種のエフェクターを搭載しており、各セクションより1種=最大5種のエフェクターを同時に使用することができます。

iOSまたはAndroidデバイス用のMarshall Gatewayアプリを使用するとBluetooth経由でCODEをリモートコントロールしたり、世界中のユーザーとプリセットを共有したりできます。またデバイス、コンピューター、MP3プレーヤーなどを接続し、CODEのスピーカーやヘッドホンを通じて音楽に合わせての練習やジャムセッションも可能です。更にUSB接続ではCODEをDAWインターフェイスとしても使用できます。

CODEがどんな演奏環境においても活躍し、お楽しみいただけることを願っています。マーシャル製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

- マーシャルチーム

CODE100 / CODE100H仕様

出力(RMS)	100W (8Ω接続時)
プリセット数	100 (ユーザー編集可能)
スピーカー	2 x 12" カスタムボイスシングスピーカー (CODE100のみ)
重量	CODE100:21.0kg / CODE100H:8.9kg
寸法(mm)	CODE100:700 x 280 x 480 / CODE100H:525 x 200 x 220
接続	Bluetooth® 4.0 / USB 2.0

MARSHALLアンプの歴史

MSTモデリングにより、50年以上に渡り愛されリスペクトされてきた数々の名機のサウンドと挙動を忠実に再現しました。

JTM45™

JTM45はMarshallの原点です。このモデルのオリジナルは1962年にジム・マーシャルと少人数のエンジニアのチームによって、ロンドン・ハンウェルにある彼の楽器店の作業場で製作されました。この30ワット/2チャンネルのアンプの誕生が、ロックやブルースのサウンドを永久に変えてしまう革命の始まりとなりました。

1962 Bluesbreaker™

1962 Bluesbreakerは、Marshall初のコンボアンプです。1965年に発売され、出力30ワットで12インチスピーカーを2基搭載していました。1962は、1966年に大きな反響を呼んだブルースアルバム「John Mayall's Bluesbreakers」でエリック・クラプトンが使用したことで有名になり、以来「Bluesbreaker」の愛称で呼ばれています。

1959™ Plexi™

多くの人々の心と耳にとって、1960年代半ばから末にかけての100ワットのSuper Leadヘッドこそが素晴らしいロックギターサウンドの最高峰でしょう。マスターボリューム非搭載の1959 Super Leadは、ボリュームを上げるとパワーバルブがオーバードライブし、レスポンスが速く絶妙に調和の取れたサウンドで咆哮します。

JCM800 2203™

2203は1970年代に当時のJMPや1959 Plexiヘッドの進化版として誕生した、Marshall史上最も重要なモデルの一つです。この質実剛健なシングルチャンネルアンプは1980年代に現在のJCM800 2203に発展し、その唯一無二のサウンドは当時のヘヴィメタルシーンを席卷しました。その人気はグランジやブリットポップの誕生した1990年代に入ってから衰えず、現在に至るまで全てのメタル系アンプの指標として不動の人気と地位を確立しています。

JCM2555™ Silver Jubilee™

25/50 Silver Jubileeシリーズは、Marshall Amplificationの25周年とジム・マーシャルの音楽ビジネス歴50年を祝して1987年に誕生しました。マスターボリュームを搭載したJCM800 2203や2204™をベースにしたSilver Jubileeは、クリーン/リズムクリップ/リードチャンネルという、3つのゲインモードを備えた特殊なプリアンプ回路でした。2555はJubileeシリーズの限定版100ワットヘッドでしたが、長年に渡る多大なる要望を受け、2015年に2555X™として復刻されました。

JCM2000™ DSL100™

1997年に発売されたJCM2000 Dual Super Leadは、クラシックゲインチャンネルではクリーン/クランチトーンを選択することができ、ウルトラゲインチャンネルではリード1/リード2と異なるリードサウンドを選択できるというデュアルモード設計でした。更に音作りの幅を広げるディープおよびトーンシフト機能を搭載していました。JCM2000 DSL100は音作りの幅広さと使いやすさで爆発的なヒットとなり、その息吹は現在のDSLシリーズに継承されています。

MARSHALLアンプの歴史(続き)

JVM410H™

2006年にJVM410Hが発売されると大きな話題となりました。この100Wヘッドは4つのチャンネルにそれぞれグリーン/オレンジ/レッドの3つのモードを備え、ギタリストに12種類もの異なるトーンを提供するオールバルブ・モンスターアンプです。それぞれ異なるゲインやトーンを生み出すために、各モードではチャンネルゲインステージを再構成しています。JVM410Hの多彩なトーンと機能はMarshall史上最も汎用性が高く、世界中で数多くのプロフェッショナルに愛用されています。

パワーアンプ

MSTモデリングにより、4タイプの伝統的な真空管パワーアンプの挙動を忠実に再現しています。真空管アンプのサウンドやキャラクターにとって、パワーアンプ部は非常に重要な要素です。

スピーカーキャビネット

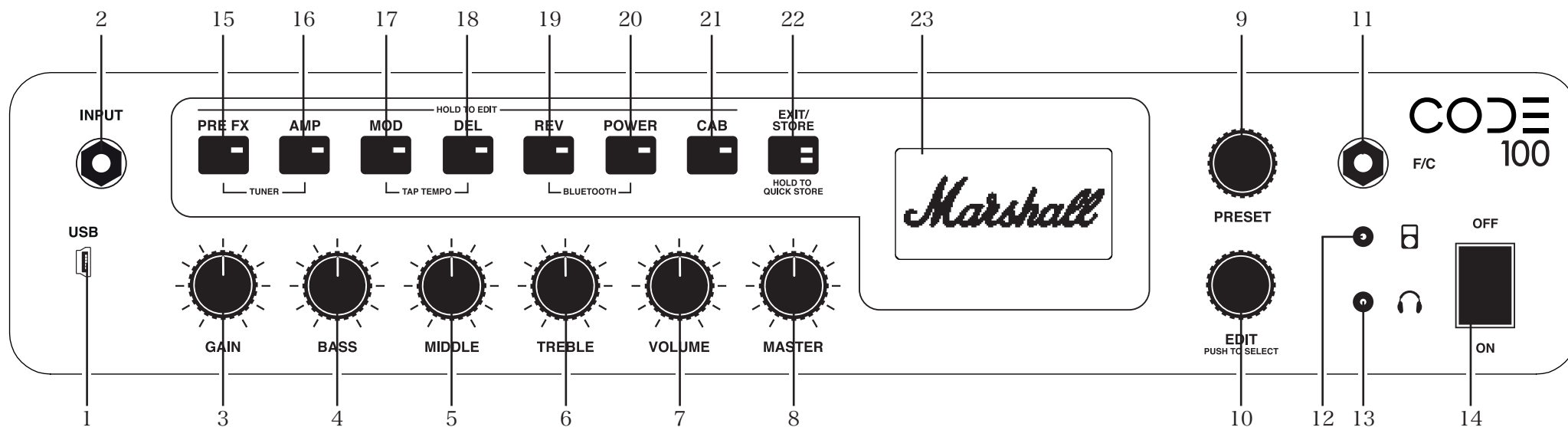
Marshallのスピーカーキャビネットは、Marshallのアンプと同じくらい有名でしょう。象徴ともなっている4 x 12インチのデザインは、1965年のジム・マーシャルによる最初の設計からほぼ変わっていません。それ以来Marshallの4 x 12インチは、すべてのスピーカーキャビネットの標準となっています。MSTモデリングにより4 x 12インチ/2 x 12インチ/1 x 12インチのスピーカー構成を含む、8つの伝統的なMarshallスピーカーキャビネットの音響特性を再現しました。Marshallの各スピーカーキャビネットはスピーカー構成だけでなく、使用するスピーカーユニット、配線、キャビネットのサイズなども異なります。

演奏を始める前に

CODEの使用を始めるには:

- 電源ON/OFFスイッチがOFFになっていることを確認してください(この取扱説明書の14)。
- 壁面のコンセントにプラグを差し込む前に、付属の電源コードを本体背面のMAINS INPUT端子(この取扱説明書の24)に接続してください。
- CODE100Hの場合は、別売のスピーカーキャビネットと本体背面のSPEAKER端子(この取扱説明書の26)を、付属のスピーカーケーブルで接続してください。
- ギターケーブルをアンプのINPUT端子(この取扱説明書の2)に接続してください。
- MASTER (この取扱説明書の8)をゼロに合わせてください。
- ON/OFFスイッチでアンプの電源をONにしてください。
- 任意の音量レベルまでMASTERを少しずつ回してください。
- PRESETセレクター(この取扱説明書の9)を回して、CODEのプリセットを選択してください。

フロントパネル機能



1. USB

CODEとPCなどをUSB接続することで、DAWインターフェイスとしての使用、ミュージックライブラリのトラック再生、ファームウェアの更新、MIDI制御などが可能です。

DAWを使用してCODEで録音するには：

- コンピューターとUSB接続してください。
- コンピューター上およびDAW内で、入力ソースとしてCODEアンプを選択してください。

コンピューターからCODEを通じてオーディオをストリーミングするには：

- コンピューターとUSB接続してください。
- コンピューターの出力ソースとしてCODEアンプを選択してください。
- MASTER（この取扱説明書の8）で音量レベルを調整してください。

CODEファームウェアを更新するには：

<http://www.marshallamps.jp/support/downloads/>
このリンクにアクセスし、インストール方法を確認し、MARSHALL FIRMWARE UPDATE UTILITYよりダウンロード/インストールして更新を行ってください。

2. INPUT

ギターを接続します。

3. GAIN

入力ゲインを調整します。設定を高くするほどプリアンプのドライブが強くなります。

4. BASS

低音域の出力を調整します。サウンドの暖かさとローエンドの深みを調整します。

5. MIDDLE

中音域の出力を調整します。時計回りに回すほどサウンドに芯の太さが増加します。反時計回りに回すほどスムーズな“ドンシャリ系”のサウンドになります。

6. TREBLE

高音域の出力を調整します。時計回りに回すほど切れの良い、明るいサウンドになります。

7. VOLUME

選択中のプリセットの音量レベルを調整します。

❗ GAIN、BASS、MIDDLE、TREBLE、VOLUMEのプリセット呼び出し時の値と実際のノブの位置は連動しておらず、ノブを操作した瞬間に動かしたノブの位置の値に変更されます。上書き保存しない限り、プリセットの値は更新されません。これらのノブを操作時、ディスプレイ上には現在値と保存値が表示されます。

❗ GAIN、BASS、MIDDLE、TREBLE、VOLUMEを変更するとEXIT/STORE LEDが赤色に点滅し、プリセットに保存された設定が変更されたことを示します。

フロントパネル機能(続き)

8. MASTER

最終的な音量レベルを調整します

❗ このコントロールはプリセット保存されません

9. PRESET

CODEはプリアンプ/パワーアンプ/スピーカーモデル/FX類の全ての設定を1つのプリセットに保存できます(MASTERを除く)。

保存されたプリセットはPRESETセクター、Marshall Gateway™アプリ、付属の2-wayフットスイッチ、またはオプションのフットコントローラー(PEDL-91009)で呼び出せます。

PRESETセクターを回して、CODEの工場出荷時プリセットをいろいろ試してみましょう。

10. EDIT

EDITセクターを使用して、プリセットを編集できます。

EDITセクターを押すとGAIN、BASS、MIDDLE、TREBLE、VOLUMEの設定値を表示します。

EDITセクターを回すと各セクションスイッチの現在の設定を表示します。

❗ 詳しくは「プリセットの編集」項をお読みください。

11. F/C

付属の2-Wayフットスイッチ(PEDL-91010:プリセットのスクロールのみ可能)または別売りのプログラマブル4-Wayフットコントローラー(PEDL-91009)を接続します。

12. MP3入力

3.5mmジャックのケーブルでMP3プレーヤーなどを接続します。

13. ヘッドホン出力

3.5mmジャックのヘッドホンに接続します。この端子に接続時にはディスプレイ右上に「HP」と表示されます。

音量はMASTERで調節します。この端子に接続時はスピーカー出力端子からの信号はキャンセルされます。

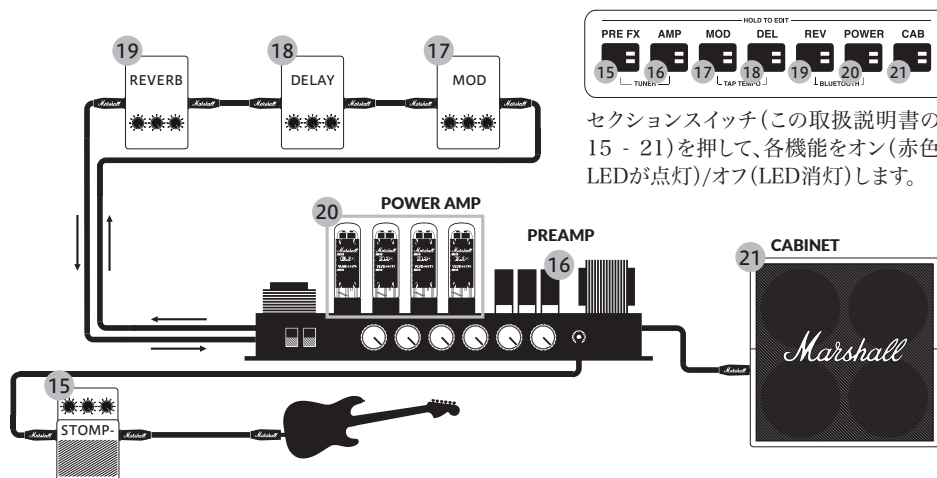
またこの端子はライン出力としても使用できません。

14. ON/OFF

アンプの電源オン/オフスイッチです。

セクションスイッチ (15 - 21)

セクションスイッチは、ギターからスピーカーまで信号が通過する一般的な順に並んでいます。



フロントパネル機能(続き)

15. PRE FX

通常ギターとアンプの間に接続されるFX(エフェクター)のセクションです。これらのFXは一般的にはペダルタイプのFXで「ストップボックス」とも呼ばれます。

PRE FXセクションには以下のストップボックスFXがあります。

ストップボックスFX



Compressor(コンプレッサー)

コンプレッサーはギター信号のダイナミックレンジに影響します。CODEのコンプレッサーは設定したレベルを超えるギターサウンドのピーク部分を低減または圧縮し、設定したレベルを超えないギターサウンドの部分には影響しません。コンプレッサーはクリーンでもオーバードライブでも、ギターサウンドに鮮明さと安定感を与えます。コンプレッサーの編集可能なパラメーターは以下の通りです。

パラメーター	設定範囲	説明
Tone	0 - 10	コンプレッサーのトーンバランスを調整します。
Ratio	0 - 10	設定レベルを超える信号の圧縮度合いを調整します。
Compression	0 - 10	信号に圧縮がかかるポイントを調整します。
Level	0 - 10	コンプレッサーの全体的な音量レベルを調整します。

Distortion(ディストーション)

CODEのディストーションには3つのモードがあります。GUVモードはMarshall Guv'nor™のサウンドをシミュレートしています。ODRとDISモードは標準的なテイストのオーバードライブおよびディストーションです。ディストーションはヴィンテージタイプのMSTプリアンプモデルにドライブとサスティーンを加える際に特に効果的です。ディストーションの編集可能なパラメーターは以下の通りです。

パラメーター	設定範囲	説明
Mode	GUV, ODR & DIS	Marshall Guv'nor/標準的なオーバードライブペダル/標準的なディストーションペダル
Drive	0 - 10	歪みの強さを調整します。
Tone	0 - 10	エフェクト音の中高音域以上の成分量を調整します。
Level	0 - 10	ディストーションの全体的な音量レベルを調整します。

フロントパネル機能(続き)

15. PRE FX(続き)

ストンプボックスFX



Auto Wah(オートワウ)

オートワウはワウペダルのようなダイナミックフィルターです。ワウペダルにはフィルターのかかる周波数を可変させる「ロッカー」フットペダルがありますが、オートワウではこのペダルがなく、入力レベルに応じてロッカー機能が動作するENVモードと、周期的にロッカー機能が動作するLFOモードがあります。オートワウの編集可能なパラメーターは以下の通りです。

パラメーター	設定範囲	説明
Mode	ENV & LFO	エンベロープフィルター/ローフリーケンシー(低周波)オシレーター
Frequency	0 - 10	ワウペダルが完全に閉じた状態の周波数帯を設定し、フィルターが開く幅を調整します。
Sensitivity	0 - 10	ENVモード: ピッキングの強さに応じてワウが開く感度を調整します。 LFOモード: ワウペダルが開閉する速度を調整します。この値をゼロにするといわゆる「半止め」の状態になります。
Resonance	0 - 10	フィルターのレゾナンスピークの大きさ、帯域幅および形状を調整します。

Pitch Shifter(ピッチシフター)

上下1オクターブ/半音階のピッチシフターです。サウンドにオクターブやハーモニーを加えたり、癖の強い不協和音的なサウンドを生み出したりできます。ピッチシフターの編集可能なパラメーターは以下の通りです。

パラメーター	設定範囲	説明
Semitone	-12 to +12	演奏された音に加える音程を上下1オクターブの範囲内/半音単位で選択します。
Fine Tune	-50 to +50	エフェクト音のピッチを微調整します。
Regeneration	0 - 10	フィードバックする信号の割合を調整します。単音に設定する場合はゼロに設定します。
Mix	0 - 10	ダイレクト音とエフェクト音のバランスを調整します。10の状態ではエフェクト音のみ出力されます。

フロントパネル機能(続き)

16. AMP

アンプのプリアンプ部のセクションです。MSTモデリングにより歴代のMarshallバルブトーンはもちろん、他の有名なバルブアンプのトーンや動作を忠実に再現しています。MSTプリアンプモデルはクリーン/クランチ/オーバードライブの3グループに分類されます。CODEには以下のMSTプリアンプモデルがあります。

プリアンプモデル



CLEAN

JTM45™	JTM45 2245のクリーンセッティング
CL DSL	DSL100Hのクラシックゲインチャンネル/クリーンセッティング
CL American	標準的なアメリカ製真空管アンプのクリーントーン
CL JVM	JVM410Hのクリーンチャンネル/グリーンモード
Acoustic Simulator	エレクトリック・アコースティックギターのシミュレーションサウンド

CRUNCH

Bluesbreaker™	1962 Bluesbreakerコンボのオーバードライブ
Plexi™	1959SLPのオーバードライブ
CR American	標準的なアメリカ製真空管アンプのオーバードライブ
JCM800™	JCM800 2203のオーバードライブ(ハイセンシティビティ入力)
'50s British	50年代風のイギリス製真空管コンボアンプのオーバードライブ

OVERDRIVE

OD JVM	JVM410H のOD1チャンネル/レッドモード
OD DSL	JCM2000 DSLのリード2チャンネル
OD American	標準的なアメリカ製真空管アンプのハイゲインオーバードライブ
OD Silver Jubilee	JCM2555シルバージュビリーのリードチャンネル

NATURAL

このモデルは外部プリアンプを接続するなど、MSTモデリングされたプリアンプの音色を必要としない場合に使用します。EQとゲートは有効です。

GATE

このノイズゲートは入力信号が設定したレベルを下回るとアクティブになり、そのレベル以下の信号をカットします。演奏のダイナミクスに応じてギター信号を徐々に減衰させ、不要なノイズを抑えます。

パラメーター	設定範囲	説明
Threshold	0 - 10	ゲートのかかり始めるポイントを調節します。

フロントパネル機能(続き)

17. MOD

主にアンプのエフェクトループに接続される、モジュレーションFXのセクションです。

モジュレーションFX



Chorus(コーラス)

コーラスとヴィブラートはギター信号に微妙な音程変化を加えることで、きらめくソフトな揺れから強烈な揺れまでを生み出し、クリーントーンに奥行きと拡がりを与えたり、ソロサウンドに厚みを加えたりできます。コーラスの編集可能なパラメーターは次のとおりです。

パラメーター	設定範囲	説明
Mode	CLS & VIB	一般的なコーラス/ヴィブラート
Speed	0 - 10	コーラスまたはヴィブラート効果の揺れの速さを調整します。
Depth	0 - 10	コーラスまたはヴィブラート効果の揺れの深さを調整します。
Tone	0 - 10	サウンドの高域/低域をブーストまたはカットします

Flanger(フランジャー)

フランジャーはコーラスに似たサウンドですが、より複雑な倍音成分の鮮やかなサウンドです。定番のジェットサウンドやドップラー効果、メタリックサウンドなど一風変わった独特のサウンドを生み出します。フランジャーの編集可能なパラメーターは次のとおりです。

パラメーター	設定範囲	説明
Mode	JET & MET	ジェットフランジャー/メタリックフランジャー
Speed	0 - 10	フランジャー効果の揺れの速さを調整します。
Depth	0 - 10	フランジャー効果の揺れの深さを調整します。
Regeneration	0 - 10	フィードバックする信号の量を調整し、フランジャー効果を際立たせます。

Phaser(フェイザー)

オールパスフィルターで信号をわずかにシフトさせ位相を変えた信号を原音とブレンドすることで、ファンキーなブレイに最適なうねりを持つ、一般的なフェイザーサウンドを生み出します。フェイザーの編集可能なパラメーターは次のとおりです。

パラメーター	設定範囲	説明
Mode	CLS & VBE	一般的なフェイザー/ヴァイブ
Speed	0 - 10	フェイザーまたはヴァイブエフェクトの揺れの速さを調整します。
Depth	0 - 10	フェイザーまたはヴァイブエフェクトの揺れの深さを調整します。
Regeneration	0 - 10	フィードバックする信号の量を調整し、フェイザー効果を際立たせます。

フロントパネル機能(続き)

17. MOD(続き)

モジュレーションFX



Tremolo(トレモロ)

信号を上下に変調させてトレモロ効果を生み出します。CODEのトレモロは繊細な揺れから強烈なうねりまで、幅広い設定が可能です。トレモロの編集可能なパラメーターは以下の通りです。

パラメーター	設定範囲	説明
Mode	VLV & SQR	真空管トレモロ/スクエアウェーブトレモロ
Speed	0 - 10	トレモロの揺れの速さを調整します。
Depth	0 - 10	トレモロの揺れの深さを調整します。
Skew	-50 to +50	波形の形状を調整し、ヴィンテージ風からモダン風まで好みのキャラクターに設定できます。

18. DEL

主にアンプのエフェクトループに接続される、ディレイFXのセクションです。ディレイを選択するとスイッチのLEDが2秒間赤色に点灯した後、現在のディレイテンポを点滅で示します。CODEには以下のディレイFXがあります。

ディレイタイプ



Studio(スタジオ)

スタジオディレイはハイファイなディレイです。最大4秒のロングディレイにより、サウンドオンサウンドのような奏法も可能です。スタジオディレイの編集可能なパラメーターは以下の通りです。

パラメーター	設定範囲	説明
Time	0 - 4000	ディレイ音のタイミングをミリ秒単位で調整します。
Feedback	0 - 10	ディレイ音のリピート回数を調整します。
Frequency	0 - 10	ディレイ音の高周波数成分の量を調整します。
Level	0 - 10	ディレイ音のレベルを調整します。

フロントパネル機能(続き)

18 DEL(続き)

ディレイタイプ



Vintage(ヴィンテージ)

ヴィンテージディレイは、アナログディレイのサウンドを再現します。ヴィンテージディレイの編集可能なパラメーターは以下の通りです。

パラメーター	設定範囲	説明
Time	0 - 4000	ディレイ音のタイミングをミリ秒単位で調整します。
Feedback	0 - 10	ディレイ音のリピート回数を調整します。
Age	0 - 10	よりヴィンテージ感のあるディレイ音にするために「フラッター」の量と高周波数の減衰を調整します。
Level	0 - 10	ディレイ音のレベルを調整します。

Multi(マルチ)

マルチディレイはリズムカルなリピート音を追加して、より複雑なディレイパターンを生み出します。マルチディレイの編集可能なパラメーターは以下の通りです。

パラメーター	設定範囲	説明
Time	0 - 4000	ディレイ音のタイミングをミリ秒単位で調整します。
Feedback	0 - 10	ディレイ音のリピート回数を調整します。
Tap Pattern	1 - 4	4つのディレイパターンから選択します。
Level	0 - 10	ディレイ音のレベルを調整します。

Reverse(リバース)

リバースディレイでは逆再生音がリピートし、サウンドに複雑怪奇な印象を加えます。リバースディレイの編集可能なパラメーターは以下の通りです。

パラメーター	設定範囲	説明
Time	0 - 4000	ディレイ音のタイミングをミリ秒単位で調整します。
Feedback	0 - 10	ディレイ音のリピート回数を調整します。
Frequency	0 - 10	ディレイ音の高周波数成分の量を調整します。
Mix	0 - 10	ディレイ音のレベルを調整します。レベルを上げるほどにドライ音は減少します。

日本語

フロントパネル機能(続き)

18 DEL(続き)

ディレイタイプ



Tap Tempo(タップテンポ)

EDITセクターをタップするか、別売のCODEフットコントローラーに割り当てたボタンをタップして、ディレイタイムを設定します。演奏する音楽のテンポにディレイタイムを素早く簡単に合わせる事が可能です。

タップテンポを有効にするには:

- MODとDELセクションスイッチを同時に押します。
- ディスプレイ画面にディレイタイムがミリ秒単位で表示されます。
- EDITセクターを回してディレイタイムをミリ秒単位で選択するか、EDITセクターまたはフットコントローラーに割り当てたボタンを繰り返しタップして、任意のディレイタイムやテンポに合わせます。
- EXIT/STOREを一度押してタップテンポ設定を終了し、メインプリセット画面に戻ります。

❗ タップテンポが有効になると、DELセクションスイッチLEDが現在のディレイタイムまたはテンポに合わせて点滅します。

19. REV

一般的にストンプ型/ラック型やアンプ内蔵型などがある、リバースFXのセクションです。CODEには以下のリバースFXがあります。

リバースタイプ



Room(ルーム)

ルームリバースは小さな部屋から大きめの部屋の音響反射を再現します。ルームリバースの編集可能なパラメーターは以下の通りです。

パラメーター	設定範囲	説明
Decay	0 - 10	残響音の減衰時間を調整します。
Pre-Delay	0 - 10	残響が始まるまでの時間を調整します。
Tone	0 - 10	残響音の高周波数成分の量を調整します。
Level	0 - 10	残響音のレベルを調整します。

日本語

フロントパネル機能(続き)

19. REV(続き)

リバーブタイプ



Hall(ホール)

ホールリバーブは、ホールサイズの空間における長めの音響反射を再現します。ホールリバーブの編集可能なパラメーターは以下の通りです。

パラメーター	設定範囲	説明
Decay	0 - 10	残響音の減衰時間を調整します。
Pre-Delay	0 - 10	残響が始まるまでの時間を調整します。
Tone	0 - 10	残響音の高周波数成分の量を調整します。
Level	0 - 10	残響音のレベルを調整します。

Spring(スプリング)

スプリングリバーブはクラシックなアナログ式リバーブのサウンドを再現します。従来のスプリングリバーブは複数のバネが取り付けられた金属製トレイを使用し、ギター信号をスプリングに伝達させ、ヴィンテージ感のあるサウンドのリバーブ音を発生させます。スプリングリバーブの編集可能なパラメーターは以下の通りです。

パラメーター	設定範囲	説明
Decay	0 - 10	残響音の減衰時間を調整します。
Pre-Delay	0 - 10	残響が始まるまでの時間を調整します。
Tone	0 - 10	残響音の高周波数成分の量を調整します。
Level	0 - 10	残響音のレベルを調整します。

フロントパネル機能(続き)

19. REV(続き)

リバーブタイプ



Stadium(スタジアム)

スタジアムリバーブは、文字通り非常に大きな空間の音響反射を再現します。スタジアムリバーブの編集可能なパラメーターは以下の通りです。

パラメーター	設定範囲	説明
Decay	0 - 10	残響音の減衰時間を調整します。
Pre-Delay	0 - 10	残響が始まるまでの時間を調整します。
Tone	0 - 10	残響音の高周波数成分の量を調整します。
Level	0 - 10	残響音のレベルを調整します。

20. POWER(パワーアンプ)

一般的なアンプにおけるパワーアンプ部のセクションです。特に真空管アンプにおいて、パワーアンプ部はサウンドやレスポンスに大きく影響します。MSTモデリングによりCODEは4種類のパワーアンプモデルを忠実に再現します。

パワーアンプモデル



Classic Marshall 100W

EL34真空管を搭載したクラスA/B 100Wタイプのパワーアンプです。

パラメーター	設定範囲	説明
Presence	0 - 10	サウンドのハイエンドを強調するパワーアンプ部のコントロールです。
Resonance	0 - 10	サウンドのローエンドを強調するパワーアンプ部のコントロールです。

フロントパネル機能(続き)

20. POWER(続き)

パワーアンプモデル



Vintage Marshall 30W

5881真空管を搭載したクラスA/B 30Wタイプのパワーアンプです。

パラメーター	設定範囲	説明
Presence	0 - 10	サウンドのハイエンドを強調するパワーアンプ部のコントロールです。
Resonance	0 - 10	サウンドのローエンドを強調するパワーアンプ部のコントロールです。

British Class A

EL84真空管を搭載したクラスA 30Wタイプのパワーアンプです。

パラメーター	設定範囲	説明
Presence	0 - 10	サウンドのハイエンドを強調するパワーアンプ部のコントロールです。
Resonance	0 - 10	サウンドのローエンドを強調するパワーアンプ部のコントロールです。

American Class A/B

6L6真空管を搭載したクラスA/B 100Wタイプのパワーアンプです。

パラメーター	設定範囲	説明
Presence	0 - 10	サウンドのハイエンドを強調するパワーアンプ部のコントロールです。
Resonance	0 - 10	サウンドのローエンドを強調するパワーアンプ部のコントロールです。

フロントパネル機能(続き)

21. CAB(スピーカーキャビネット)

キャビネットのスピーカー構成およびそのサイズは、アンプ全体のサウンドに非常に大きな役割を果たします。

CODEのMSTモデリングされたスピーカーキャビネットは、歴代のマーシャルキャビネットを忠実に再現しています。

キャビネットタイプ



1960	4 x 12インチ / Celestion G12T-75スピーカー
1960V	4 x 12インチ / Celestion G12 Vintageスピーカー
1960X	4 x 12インチ / Celestion G12M-25スピーカー
1960HW	4 x 12インチ / Celestion G12H-30スピーカー
1936	2 x 12インチ / Celestion G12T-75スピーカー
1936V	2 x 12インチ / Celestion G12 Vintageスピーカー
1912	1 x 12インチ / Celestion G12B-150スピーカー
1974CX	1 x 12インチ / Celestion G12M-20スピーカー

22. EXIT/STORE(終了/保存)

どの画面でもEXIT/STOREを押すとメインプリセット画面に戻ります。

どの画面でもEXIT/STOREを長押しすると編集した設定をクイックストアできます。編集した設定は現在のプリセットに上書き保存され、メインプリセット画面に戻ります。

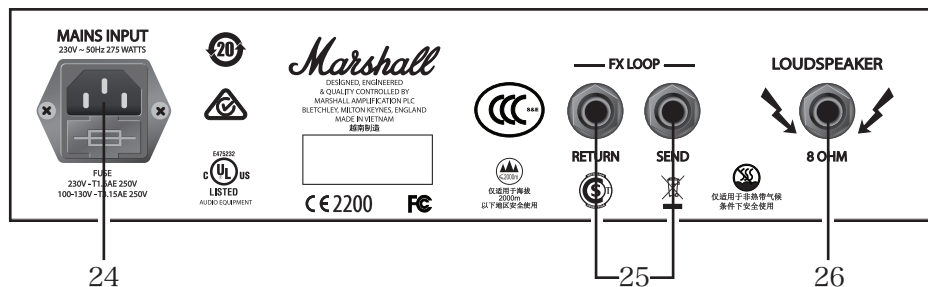
❗ プリセットの保存およびプリセット名変更の方法については、この取扱説明書の「プリセットの保存」のセクションを参照してください。

23. DISPLAY(ディスプレイ画面)

ディスプレイ画面には、プリセット名、番号、パラメーター設定およびチューナーが表示されます。

またヘッドホン端子に接続時にはディスプレイ右上に「HP」と表示されます。

リアパネル機能



24. MAINS INPUT (電源入力)

付属の電源コードを接続します。

! 電源入力ソケット内にはヒューズ・ボックスがあります。電源ヒューズの規格はリアパネルに記載されているものをお使いください。ヒューズ・ボックスを開くときは必ずアンプのスイッチを切りコンセントから外してください。ご不明な点はご購入の販売店にご相談ください。

25. FX LOOP (エフェクトループ)

外部エフェクターを接続します。FX LOOPはマスターボリューム直前に位置しています。

26. SPEAKER OUTPUT (スピーカー出力)

スピーカーキャビネットを接続します。CODE100の場合、この端子に接続時には内蔵スピーカーへの信号がキャンセルされます。

重要: 8Ω未満のスピーカーキャビネットを接続しないでください。CODE100Hは必ずスピーカーキャビネットを接続して使用してください。

プリセットの編集

PRE FX、AMP、MOD、DEL、REV、POWERおよび CAB セクションの設定を編集するには:

- 編集したいセクションのスイッチを長押しします (この取扱説明書の 15 - 21)。
- デュアルディスプレイ画面に選択したセクションの設定が表示されます。
- EDITノブ (この取扱説明書の10) を回して、セクション内の選択肢をスクロールします。
- 編集したい項目が見つかったらEDITノブを押して編集を開始します。

! スピーカーキャビネットモデルは編集できません

プリセットの編集(続き)

- EDITノブを回してハイライト表示されているパラメーター値を変更します。パラメーター値はディスプレイ上で確認できます。
- 選択中のパラメーター値の変更が完了したら、EDITノブを押して次のパラメーターへ移動します (存在する場合)。
- EDITノブを回して新たにハイライト表示されているパラメーター値を変更します。
- 編集したいセクションのパラメーター及び値について上記の手順を繰り返します。
- プリセットの編集が完了したらアンプ本体のメモリに保存できます。

! 編集したプリセットの保存方法については、この取扱説明書の「プリセットの保存」のセクションを参照してください。

● 編集内容を保存せずに終了するには、EXIT/STORE (この取扱説明書の22) を押してください。メインプリセット画面に戻ります。

! 編集した設定を保持するには、プリセットから移動する前に確実に保存してください。

プリセットの保存

編集したプリセットを保存する/編集したプリセットを新しい場所に保存する/編集したプリセットの名前を変更するには:

- 編集が終了したら、プリセット名が左へスクロールし始めるまでEXIT/STOREを長押しします。
- 編集したプリセットを別の場所に保存するには、PRESETノブを回して任意のプリセット番号へ移動し、ディスプレイ画面に「STORED (保存済み)」と表示されるまで、EXIT/STOREを長押しします。

! プリセットを保存すると、その場所に保存されていたプリセットが上書きされますので、適切な保存先が選択されていることを確認してください。

編集したプリセットの名前を変更して現在の場所に保存するには:

- プリセット名が左へスクロールしている間にEXIT/STOREを再度長押しして、プリセット名の最初の文字の位置に↑↓を表示させます。
- EDITノブを回して任意の文字へ変更します。
- PRESETノブを回して変更したい文字の位置を選択します。
- プリセット名の変更が終了するまでこの手順を繰り返します。

プリセットの保存(続き)

各セクションスイッチはプリセット名変更のショートカットとして機能します:

命名ショートカット	
PRE FX	クリア
AMP	数字
MOD	大文字A
DEL	小文字a
REV	大文字/小文字切替え
POWER	スペース
CAB	バックスペース

- 保存プロセスを完了するには、ディスプレイ画面にSTORED（保存済み）と表示されるまでEXIT/STOREを再度長押しして、編集したプリセットをCODE本体のメモリに保存します。

BLUETOOTH

REVとPOWERセクションスイッチ(この取扱説明書の19と20)を同時に押し、Bluetooth®ペアリング機能にアクセスします:

- ディスプレイ画面に「Bluetooth:」というメッセージと、アンプ本体のペアリングIDが表示されます。
- ペアリング中はEXIT/STORE(この取扱説明書の22)の青いLEDが点滅します。
- ペアリングが完了するとLEDの点滅が止まり、点灯状態になります。
- オーディオをストリーミングする場合は、MASTERまたはミュージックプレーヤー側で音量レベルを調整します。

❗ Bluetooth経由でストリーミングされるオーディオは、MASTERを除くCODEの機能を全てバイパスします。

Marshall Gateway™アプリを使用すると、iOSまたはAndroidデバイスからもCODEをコントロールできるようになります。Marshall GatewayはApp StoreまたはGoogle Playから無料でダウンロードできます。

また無料クラウドサービス「My Marshall」に登録すると、デバイスを同期させてプリセットライブラリーのオンライン管理や、世界中のユーザーとのオリジナルプリセットの共有などが可能になります。

My Marshallは「<https://my.marshall.com/>」から登録できます。



ギターチューナー

PRE FXとAMPセクションスイッチ(この取扱説明書の15および16)を同時に押し、ギターチューナーモードにアクセスします。



- 弦をはじくと音階が表示されます。
- 合わせたい音階が画面に表示されるまで、弦をチューニングします。
- 音がフラットしている場合、バーは左に移動します。音がシャープしている場合、バーは右に移動します。
- 表示された音階に正確にチューニングされると、バーがちょうど中心に来ます。
- EXIT/STOREを押し、ギターチューナーモードを終了します。

出荷時リセット

出荷時リセットを実行すると、CODEのプリセットが全て出荷時の設定に戻ります。

❗ 出荷時リセットを実行する前に、カスタマイズしたプリセットがすべて消去されてもよいかを確認してください。

出荷時リセットを実行するには:

- ON/OFFスイッチ(この取扱説明書の14)でアンプの電源をオフにします。
- AMPセクションスイッチを押しながら、電源をオンにします。
- 画面にアンプが出荷時の設定に戻ることを通知するメッセージが表示されます。
- 出荷時リセットを実行するには、EXIT/STORE(この取扱説明書の22)を長押しして確定します。
- 出荷時リセットを実行しない場合は、他のスイッチを押すと出荷時リセット操作がキャンセルされ、アンプは通常通り起動します。

付属品の名称及び数量
電源ケーブル:1個
スピーカーケーブル(CODE100Hのみ):1個
2-Wayフットスイッチ(PEDL-91010):1個
クイックスタートガイド:1枚
保証書:1枚

問い合わせ先(製品と修理のご相談)
お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口
TEL(ナビダイヤル): 0570-056-808
上記番号でつながらない場合: 053-533-5003

輸入発売元
株式会社ヤマハミュージックジャパン
〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11
<http://www.marshallamps.jp/>



MARSHALLAMPS.COM



Marshall Amplification plc, Denbigh Road,
Bletchley, Milton Keynes, MK1 1DQ, England.
Telephone: +44 (0) 1908 375411 | Fax: +44 (0) 1908 376118
Registered in England. 登録番号: 805676

本書に掲載の情報は発行時点のものです。マーシャル・アンプリアケーション社はポリシーとして常に改善と発展を心がけており、事前の予告なしに、仕様書を変更する権利を保有します。